



平成24年 5月25日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社
代 表 者 名 取締役社長 佐光 正義
(コード：3880、東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役 阿達 敏洋
(TEL. 03-6895-1014)

(再訂正)

「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成23年12月27日に公表いたしました標記開示資料に一部再訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 再訂正理由及び損益影響額等

再訂正理由及び損益影響額等は、平成24年5月16日公表の「平成24年3月期決算の過程において判明した過年度の会計処理の誤りに係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出、及び決算短信等の再訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成19年3月期から平成24年3月期第1四半期までのすべての決算短信等(中間・四半期決算短信を含む)を再訂正し、また、平成24年3月期第2四半期及び第3四半期決算短信を訂正し、本日(平成24年5月25日)公表しております。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多岐にわたるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付しております。

以 上

(訂正後)

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社
コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐光 正義
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 魚田 敏夫

TEL 0896-23-9006

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	100,328	3.8	2,534	△30.4	881	△48.8	△1,291	—
23年3月期第1四半期	96,638	△7.6	3,640	△31.8	1,722	△52.0	△86	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △1,788百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	△10	45	—	—
23年3月期第1四半期	△0	70	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	686,064	—	112,166	—	12.2	—
23年3月期	672,386	—	115,191	—	12.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 83,655百万円 23年3月期 85,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50	—
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.50	8.50	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	207,000	3.8	5,700	△23.8	1,800	△48.7	200	—	1.62	—
通期	428,000	4.3	14,300	6.9	6,500	14.7	3,000	—	24.28	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名） 、 除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	129,018,785 株	23年3月期	129,018,785 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,460,664 株	23年3月期	5,246,597 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	123,665,155 株	23年3月期1Q	123,825,206 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、本年3月に発生した東日本大震災により甚大な損害を被るとともに、福島原発事故による電力供給不足の懸念や欧米・アジアを中心に風評被害が広がるなど、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループでは、高付加価値商品の開発・拡販を推進し、既存設備の生産効率の向上や変動費及び固定費の削減などの諸施策の実施により、収益力の強化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	100,328百万円	(前期比 3.8%増)
連結営業利益	2,534百万円	(前期比 30.4%減)
連結経常利益	881百万円	(前期比 48.8%減)
連結四半期純利益	△1,291百万円	(前期比 -%)

主な品種別の販売状況は、以下のとおりです。

新聞用紙は、震災発生直後の広告自粛の動きなどから、発行部数・ページ数・広告出稿量が減少し、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

印刷用紙は、震災発生直後は国内需要・供給ともに減少しましたが、チラシ広告自粛の弱まりや印刷会社の稼働再開などにより需要は回復基調にあり、また、国内の製品供給不足に対応した結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

段ボールは、震災後の支援物資搬送用の需要や6月の気温上昇により飲料関係や加工食品関係の需要が堅調に推移したことなどから、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

衛生用紙は、「エリエール+W a t e r」や「エリエール ハーブガーデン」の販売が堅調に推移するとともに、ユッケ食中毒事件により除菌関連商品の需要が増加した結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

ベビー用紙おむつは、被災地への支援物資としての需要が増加したほか、「G O O . N」のリニューアル品の配荷拡大及び東アジアやA S E A N諸国を中心とした輸出販売による新規顧客獲得に取り組んだ結果、販売数量は前年同期を上回りましたが、販売価格の下落の影響を受け、販売金額は前年同期並みとなりました。

大人用紙おむつは、3月にリニューアルした「アテント すっきりフィットうす型パンツ」を中心に配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

生理用ナプキンは、被災地への支援物資としての需要が増加したほか、伸長カテゴリーである軽失禁商品「ナチュラ」や高付加価値商品である「e l i s ウルトラガード」の配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

また、本年4月にペット市場に新規参入し、ペットの排泄処理と同時におしっこのp Hや色を簡単にチェックできることをコンセプトにした商品「エリエールE l u l u (エルル) おしっこチェックもできちゃうシート」「エリエールE l u l u (エルル) おしっこチェックもできちゃうサンド」を発売しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,678百万円増加し、686,064百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加並びにたな卸資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ16,703百万円増加し、573,898百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、112,166百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、12.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月24日に発表しました連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものでありますが、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,153	138,036
受取手形及び売掛金	93,952	91,968
たな卸資産	54,425	63,363
その他	12,035	11,945
貸倒引当金	△407	△1,738
流動資産合計	290,159	303,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,199	70,509
機械装置及び運搬具(純額)	147,578	145,377
土地	89,556	89,590
その他(純額)	13,570	12,512
有形固定資産合計	321,904	317,990
無形固定資産		
のれん	12,092	12,626
その他	2,969	2,923
無形固定資産合計	15,061	15,550
投資その他の資産	45,141	48,841
固定資産合計	382,108	382,382
繰延資産	118	107
資産合計	672,386	686,064

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	43,131
短期借入金	62,320	62,770
1年内返済予定の長期借入金	80,713	81,740
未払法人税等	1,571	1,598
引当金	4,223	2,312
その他	53,696	57,384
流動負債合計	244,954	248,938
固定負債		
社債	35,560	25,510
長期借入金	252,736	275,354
長期設備関係未払金	4,974	5,108
退職給付引当金	13,247	13,413
役員退職慰労引当金	1,240	1,119
環境対策引当金	358	358
関係会社事業損失引当金	1,501	1,501
その他	2,621	2,595
固定負債合計	312,240	324,960
負債合計	557,195	573,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	44,536	42,723
自己株式	△4,162	△4,322
株主資本合計	100,190	98,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,317	△3,313
為替換算調整勘定	△11,227	△11,250
その他の包括利益累計額合計	△14,545	△14,563
少数株主持分	29,545	28,510
純資産合計	115,191	112,166
負債純資産合計	672,386	686,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	96,638	100,328
売上原価	76,617	80,551
売上総利益	20,020	19,776
販売費及び一般管理費	16,380	17,241
営業利益	3,640	2,534
営業外収益		
受取利息	65	67
受取配当金	357	301
その他	652	587
営業外収益合計	1,076	956
営業外費用		
支払利息	2,146	1,958
その他	846	651
営業外費用合計	2,993	2,610
経常利益	1,722	881
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	46	0
その他	72	—
特別利益合計	118	1
特別損失		
災害による損失	6	545
投資有価証券評価損	263	29
貸倒引当金繰入額	—	1,331
災害損失引当金繰入額	—	186
その他	201	115
特別損失合計	471	2,207
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,370	△1,324
法人税、住民税及び事業税	1,085	1,107
法人税等調整額	△371	△666
法人税等合計	714	441
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	656	△1,766
少数株主利益又は少数株主損失(△)	742	△474
四半期純損失(△)	△86	△1,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	656	△1,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△561	△25
為替換算調整勘定	△303	3
その他の包括利益合計	△865	△21
四半期包括利益	△208	△1,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△955	△1,310
少数株主に係る四半期包括利益	746	△478

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社

コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐光 正義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 魚田 敏夫

TEL 0896-23-9006

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	100,328	3.8	2,534	△30.4	881	△48.8	△1,296	-
23年3月期第1四半期	96,638	△7.6	3,640	△31.8	1,722	△52.0	△56	-

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △1,788百万円 (-%) 23年3月期第1四半期 △208百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△10.48	-
23年3月期第1四半期	△0.45	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	686,465	112,566	12.3
23年3月期	672,786	115,591	12.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 83,987百万円 23年3月期 85,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	4.00	-	4.50	8.50
24年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期(予想)	-	4.00	-	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	207,000	3.8	5,700	△23.8	1,800	△48.7	200	-	1.62
通期	428,000	4.3	14,300	6.9	6,500	14.7	3,000	-	24.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名） 、 除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	129,018,785 株	23年3月期	129,018,785 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,460,664 株	23年3月期	5,246,597 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	123,665,155 株	23年3月期1Q	123,825,206 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、本年3月に発生した東日本大震災により甚大な損害を被るとともに、福島原発事故による電力供給不足の懸念や欧米・アジアを中心に風評被害が広がるなど、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループでは、高付加価値商品の開発・拡販を推進し、既存設備の生産効率の向上や変動費及び固定費の削減などの諸施策の実施により、収益力の強化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	100,328	百万円	(前期比	3.8%増)
連結営業利益	2,534	百万円	(前期比	30.4%減)
連結経常利益	881	百万円	(前期比	48.8%減)
連結四半期純利益	△1,296	百万円	(前期比	－%)

主な品種別の販売状況は、以下のとおりです。

新聞用紙は、震災発生直後の広告自粛の動きなどから、発行部数・ページ数・広告出稿量が減少し、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

印刷用紙は、震災発生直後は国内需要・供給ともに減少しましたが、チラシ広告自粛の弱まりや印刷会社の稼働再開などにより需要は回復基調にあり、また、国内の製品供給不足に対応した結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

段ボールは、震災後の支援物資搬送用の需要や6月の気温上昇により飲料関係や加工食品関係の需要が堅調に推移したことなどから、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

衛生用紙は、「エリエール +Water」や「エリエール ハーブガーデン」の販売が堅調に推移するとともに、ユッケ食中毒事件により除菌関連商品の需要が増加した結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

ベビー用紙おむつは、被災地への支援物資としての需要が増加したほか、「G O O . N」のリニューアル品の配荷拡大及び東アジアやASEAN諸国を中心とした輸出販売による新規顧客獲得に取り組んだ結果、販売数量は前年同期を上回りましたが、販売価格の下落の影響を受け、販売金額は前年同期並みとなりました。

大人用紙おむつは、3月にリニューアルした「アテント すっきりフィットうす型パンツ」を中心に配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

生理用ナプキンは、被災地への支援物資としての需要が増加したほか、伸長カテゴリーである軽失禁商品「ナチュラ」や高付加価値商品である「elis ウルトラガード」の配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

また、本年4月にペット市場に新規参入し、ペットの排泄処理と同時におしっこのおしっこpHや色を簡単にチェックできることをコンセプトにした商品「エリエール E l u l u (エルル) おしっこチェックもできちゃうシート」「エリエール E l u l u (エルル) おしっこチェックもできちゃうサンド」を発売しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,678百万円増加し、686,465百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加並びにたな卸資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ16,703百万円増加し、573,898百万円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、112,566百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、12.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月24日に発表しました連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものでありますが、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,153	138,036
受取手形及び売掛金	93,952	91,968
たな卸資産	54,425	63,363
その他	12,035	11,945
貸倒引当金	△407	△1,738
流動資産合計	290,159	303,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,208	70,518
機械装置及び運搬具(純額)	147,583	145,382
土地	89,943	89,976
その他(純額)	13,570	12,513
有形固定資産合計	322,305	318,390
無形固定資産		
のれん	12,092	12,626
その他	2,969	2,923
無形固定資産合計	15,061	15,550
投資その他の資産	45,141	48,841
固定資産合計	382,508	382,782
繰延資産	118	107
資産合計	672,786	686,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	43,131
短期借入金	62,320	62,770
1年内返済予定の長期借入金	80,713	81,740
未払法人税等	1,571	1,598
引当金	4,223	2,312
その他	53,696	57,384
流動負債合計	244,954	248,938
固定負債		
社債	35,560	25,510
長期借入金	252,736	275,354
長期設備関係未払金	4,974	5,108
退職給付引当金	13,247	13,413
役員退職慰労引当金	1,240	1,119
環境対策引当金	358	358
関係会社事業損失引当金	1,501	1,501
その他	2,621	2,595
固定負債合計	312,240	324,960
負債合計	557,195	573,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	45,384	43,567
自己株式	△3,697	△3,829
株主資本合計	101,504	99,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,317	△3,313
為替換算調整勘定	△12,231	△12,254
その他の包括利益累計額合計	△15,549	△15,567
少数株主持分	29,636	28,578
純資産合計	115,591	112,566
負債純資産合計	672,786	686,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	96,638	100,328
売上原価	76,617	80,551
売上総利益	20,020	19,776
販売費及び一般管理費	16,380	17,241
営業利益	3,640	2,534
営業外収益		
受取利息	65	67
受取配当金	357	301
その他	652	587
営業外収益合計	1,076	956
営業外費用		
支払利息	2,146	1,958
その他	846	651
営業外費用合計	2,993	2,610
経常利益	1,722	881
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	46	0
その他	72	—
特別利益合計	118	1
特別損失		
災害による損失	6	545
投資有価証券評価損	263	29
貸倒引当金繰入額	—	1,331
災害損失引当金繰入額	—	186
その他	201	115
特別損失合計	471	2,207
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,370	△1,324
法人税、住民税及び事業税	1,085	1,107
法人税等調整額	△371	△666
法人税等合計	714	441
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	656	△1,766
少数株主利益又は少数株主損失(△)	712	△470
四半期純損失(△)	△56	△1,296

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	656	△1,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△561	△25
為替換算調整勘定	△303	3
その他の包括利益合計	△865	△21
四半期包括利益	△208	△1,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△925	△1,314
少数株主に係る四半期包括利益	716	△473

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。